

第27回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：がん遺伝子パネル検査の実運用について

2021年

4月21日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：加藤 俊介 先生

(順天堂大学大学院医学研究科臨床腫瘍学 教授)

座長：岡崎康司(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会：新井正美(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要：「2019年からがん遺伝子パネル検査が保険収載され臨床現場での運用が始まった。遺伝子パネル検査を行っていく上では、

- ①検査結果の精度に影響を与える品質確認(保存状況、腫瘍細胞割合)、
- ②得られた解析データに基づく腫瘍生物学的、臨床的解釈、
- ③適切な治療へ結びつけるための患者申し出療養制度を利用した医師主導治験や企業治験への流れの理解、
- ④さらには胚細胞変異などの二次的所見が得られた場合の対応など、多岐にわたる項目の理解が必要である。今回事例も交えながらがん遺伝子パネル検査の実際について紹介する。」

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までには詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/P5QPaatwWAwqPd4p6>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

4月20日 (火) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場でのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

新井/原田 (内線71407/5167)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

